

在外事業に必要な経費

支部

1. 京都支部

海外拠点

1. ローマ日本文化会館
2. ケルン日本文化会館
3. パリ日本文化会館
4. ソウル日本文化センター
5. 北京日本文化センター
6. ジャカルタ日本文化センター
7. バンコク日本文化センター
8. マニラ日本文化センター
9. クアラルンプール日本文化センター
10. ニューデリー日本文化センター
11. シドニー日本文化センター
12. トロント日本文化センター
13. ニューヨーク日本文化センター
14. ロサンゼルス日本文化センター
15. メキシコ日本文化センター
16. サンパウロ日本文化センター
17. ロンドン日本文化センター
18. マドリード日本文化センター
19. ブダペスト日本文化センター
20. モスクワ日本文化センター
21. カイロ日本文化センター
22. ベトナム日本文化交流センター

京都支部

京都支部

合計額 13,177,048 円

(1) 主催・共催事業

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	トラディショナル・シアター・トレーニング 2010	京都市	大江能楽堂	京都芸術センター	2010.08.10	日本の伝統芸能を象徴する能、狂言、日本舞踊の習得を志して京都を訪れる海外の演劇専門家、日本研究者や学生を対象に、京都芸術センターが毎年夏に行う日本の伝統芸能集中講座。3週間の集中的な稽古・指導を受けた参加者たちが成果を市民に披露する発表会を、国際交流基金京都支部が同センターと共催
2	国際交流のタベ ― 能と狂言の会	京都市	京都観世会館	国際交流基金 関西国際センター	2010.12.14	京都を始めとする関西地域に滞在中の外国人（国際交流基金フェロー、関西国際センター研修生、海外からの留学生、各国総領事館員等）に日本の伝統文化にふれる機会を提供し、日本研究と日本文化理解の深化を図ることを目的として毎年開催。1974年から実施し、平成22年度で37回目。演目は、狂言／茂山千五郎（大蔵流）『素袍落』、能／片山清司（観世流：2011.01.01片山九郎右衛門襲名）『船弁慶』。財団法人片山家能楽・京舞保存財団、社団法人京都観世会の協力を得た

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	国際交流基金フェローによる講演会（第1回）	京都市	立命館大学明学館	立命館大学 国際関係学部	2010.06.15	関西地域に在住し、国際交流基金京都支部が受入れを担当する日本研究・知的交流フェローによる講演会を開催。立命館大学との連携事業。同大学国際関係学部の授業に組み込む形でフェローのマリーナ・コバルチュク (KOVALCHUK, Marina Konstantinovna：ロシア／平成21年度フェロー／極東総合国立大学東洋学大学日本学部准教授)の研究成果を発表。講演テーマ「日清戦争期のロシアの新聞における日本観の特徴」
4	国際交流基金フェローによる講演会（第2回）	京都市	立命館大学 心館	立命館大学 国際平和ミュージアム	2010.06.16	立命館大学国際平和ミュージアム主催、立命館大学法学部及び国際交流基金京都支部共催で、国際交流基金京都支部が受入れを担当する日本研究・知的交流フェローのラン・ツウィゲンバーグ (ZWIGENBERG, Ran：イスラエル／平成21年度フェロー／ニューヨーク市立大学大学院博士課程)の公開講座を開催。講演テーマ「記憶と戦争：イスラエルと日本における戦後史比較」

京都支部

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	国際交流基金フェローによる講演会 (第3回)	京都市	立命館大学明 学館	立命館大学国 際関係学部	2010. 06. 22	主に関西地域に在住し、国際交流基金京都支部が受入れを担当する日本研究・知的交流フェローによる講演会を開催。立命館大学との連携事業。立命館大学国際関係学部の授業に組込む形でフェローの C. アンドリュウ・ガーストル(GERSTLE, C. Andrew : 英国/平成21年度フェロー/ロンドン大学教授)の研究成果を発表。講演テーマ「海外で『日本文化』を研究すること」

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	日本映画上映会	京都市	京都市国際交 流会館イベン トホール	財団法人京都 市国際交流協 会	2010. 08. 26 ~ 2010. 11. 12	国際交流基金フェロー等外国人の研究者や留学生を対象に、日本文化紹介映画、日本劇映画、アニメを計9回にわたって上映。参加者の日本文化理解を深め、ひいては、彼らの自国における日本研究、日本語教育等の振興に寄与することを目的として実施。京都国際マンガミュージアムの広報協力を得た 文化映画： 『利休の茶』『和菓子：その美と心』（10. 08. 26） 『京都御所』『桂離宮』『修学院離宮』（10. 10. 21） 『絵巻』『鳥獣戯画』（10. 11. 10） 劇映画： 『日本の黒い夏－冤罪－』（10. 08. 27） 『東京物語』（10. 10. 22） アニメ： 『おこんじょうるり』（10. 08. 28） 『太陽の王子ホルスの大冒険』（10. 10. 23） 『おんぼろフィルム』『ジャンピング』『展覧会の絵』（10. 11. 11） 『火の鳥2772・愛のコスモゾーン』（10. 11. 12）
7	英語字幕付き日本劇映画上映会	京都市	京都府国際セ ンター会議室	財団法人京都 府国際セン ター	2010. 09. 11 ~ 2010. 11. 26	国際交流基金フェロー及び京都在住の外国人留学生を対象に英語字幕付きの日本映画の上映会を開催。日本文化理解の深化を図ることを目的に、『羅生門』（10. 09. 11）、『宗方姉妹』（10. 10. 08）、『古都』（10. 11. 26）の計3回実施
8	外国語字幕付き日本劇映画上映会	大阪市	大阪国際交流 センター	財団法人大阪 国際交流セン ター	2011. 01. 01 ~ 2011. 03. 31	大阪市との連携事業。大阪在住の外国人留学生や在大阪各国総領事館の外交官、外国籍市民等を対象に、日本文化理解の促進を目的に日本の劇映画を外国語字幕付きで上映。『菊次郎の夏』（11. 01. 21）、『ピリケン』（11. 02. 18）、『めがね』（11. 03. 18）を上映

京都支部

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
9	『国際交流基金（ジャパンファウンデーション）京都支部ニュースレター』の発行	2010.04.01 ～ 2011.03.31	京都支部の主要事業を紹介することを目的に、年4回発行。第4号（春）、第5号（夏）、第6号（秋）、第7号（冬）の各号を刊行

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	日本文化体験プログラム	京都市	龍村織物工房、京都市国際交流会館、有職菓子御調進所老松、月桂冠大倉記念館		2010.06.24 ～ 2010.10.27	国際交流基金フェロー等日本研究に取り組んでいる外国人が、日本文化を肌で感じることができる体験型プログラム。錦織物の工房訪問（龍村織物工房 8名：10.06.24）、和太鼓のレクチャーデモンストレーション（京都市国際交流会館イベントホール 27名：10.07.16）、和菓子の手作り体験（有職菓子御調進所老松 12名：10.10.14）や酒造りの工程見学（月桂冠大倉記念館 13名：10.10.27）など、京都ならではの伝統文化を実体験する機会を提供。龍村織物工房、株式会社太鼓センター、財団法人京都市国際交流協会、有職菓子御調進所老松、月桂冠大倉記念館の協力を得て実施
11	フェローの集い	京都市	京都市国際交流会館特別会議室	財団法人京都市国際交流協会	2011.03.04	京都をはじめ、関西、西日本地域で研究を行っている国際交流基金フェローが家族も含めて交流し、ネットワークを築く場を提供するための茶話会形式の懇談会を開催。フェローに限定せず、指導教官、フェロー受入れ機関等の関係者の参加も得て、交流の輪を広げることにもめざした事業

（2）助成・協力事業

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
12	国際児童版画交流展2010・ポーランドと日本	版画京都展実行委員会	2010.06.08 ～ 2010.06.13	2000年発足の版画京都展実行委員会主催による、ポーランドと日本の児童の版画交流展に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援。版画芸術への社会的理解をさらに広げると共に、作家のみならず、児童をも加えた国際親善を目的に実施。両国の児童（4～18才）の版画作品100点を京都市国際交流会館2階展示室にて展示
13	リン・デリック「パラレル・パースペクティヴ」	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	2010.07.16 ～ 2010.07.31	「神戸ビエンナーレ2009」の参加作家であるリン・デリック（DERRICK, Lyn：アーティスト／オーストラリア）日本初の個展。立体作品及び平面作品20点を展示。オーストラリア東海岸の環境と作家の現地での生活を表現した作品を紹介する展覧会に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援

京都支部

	事業名	主催機関	期間	事業内容
14	Younger Artist 10th	特定非営利活動法人京都藝文化交流協会	2010. 08. 03 ～ 2010. 08. 29	関西に在る芸術系及び芸術コースを有する大学に在籍する、芸術創作活動を自己の生きる志にしようと望む学生たち9名（ヤンガーアーティスト）が自主的に企画実行する連合展に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援。参加大学は京都市立芸術大学等4大学。2010年が第10回目の開催
15	第62回毎日書道展関西展「国際交流デー」	財団法人毎日書道会関西支部	2010. 08. 07	日本を代表する書家の作品や関西の入賞・入選作品2,200点を展示する第62回毎日書道展関西展（10. 08. 04～08. 08京都市美術館で開催）において、8月7日に外国人を対象に、日本の伝統文化の一つである「書」を理解してもらうことを目的に作品解説及びワークショップを実施。同事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援
16	平成22年度NPO等との協働事業「クロアチア理解講座」	財団法人京都府国際センター	2010. 10. 10	近年旅行先として注目され始めたクロアチアについて、現状同国について日本では情報が少ないことから、文化人類学的視点から日本社会を調査研究しているイザ・カヴェジヤ（KAVEDZIJA, Iza：クロアチア／平成21年度国際交流基金フェロー／大阪大学博士課程）を講師に招き、クロアチアの現状を知り、より国際理解を深めるための講演会（講演テーマ「クロアチアの暮らし・日本の印象」）に対して、国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援
17	舞鶴国際芸術祭2011プレイベント	舞鶴国際芸術祭実行委員会	2010. 10. 10 ～ 2010. 10. 24	舞鶴北吸地区の国の重要文化財、赤煉瓦倉庫郡一帯、市内各地の景勝地などにアート展示会場を設置して、日本の作家に加え北東アジアの沿岸諸国出身作家等が参加する世界的芸術祭、舞鶴国際芸術祭2011のプレイベント。国際親善交流の促進と芸術文化の振興発展に寄与することを目的に実施する事業に対し国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援
18	平成22年度京都国際文化協会エッセーコンテスト 《私の見た日本》	財団法人京都国際文化協会	2010. 11. 06	日本在住の日本語を母語としない人々から、日本やその文化、社会、習慣、人々との交流などについて、自らの文化との対比、あるいは経験に基づいたエッセーを、国際交流団体や大学、専門学校を通じて全国より募集。日本語の部18人、英語の部25人の応募あり。優秀作品の作者6名を京都に招き登壇発表とフォーラムを行って表彰し、一般参加者との交流を深めることを目的に実施。同事業に対し、国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援。入賞者は、ANTONELLI, Paola(イタリア)、LEE, Suji(韓国)、WANG, Jing(中国)
19	国際情勢講演会「日本の外交政策におけるロシアの意義」	財団法人京都府国際センター	2010. 11. 20	地域の国際化を巡る諸課題や海外事情、海外文化を知る機会が十分でない京都府北部において、世界情勢や国際関係についての講演会を開催することで、地域の国際化の促進と次代の国際社会を担う人材の育成を図ることを目的に実施する事業に対し国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援 講師：谷内正太郎（元外務事務次官） 対談：木村汎（北海道大学名誉教授／国際日本文化センター名誉教授） コーディネーター：須藤真志（京都産業大学名誉教授）

京都支部

	事業名	主催機関	期間	事業内容
20	第26回毎日現代書関西代表作家展「国際交流デー」	財団法人毎日書道会関西支部	2011.01.13 ～ 2011.01.18	1986年創設、今回で第26回目の展示会。関西における書芸術の創造の場として、また新春を飾る書道展として発展。国内で最大規模を誇る「毎日書道展」で活躍する関西の代表的な書作家の力作294点と、毎日書道会顧問等の賛助作品24点を展示、書道振興に資する。開催期間中の1月15日を「国際交流デー」とし、外国人を対象に作品の解説を行い、また書道体験を通して国際交流を図ることを目的に実施する事業に対し国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援
21	書と非書の際展 Part : 8	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	2011.02.04 ～ 2011.02.13	現代の書芸術を「書とは何なのか」「書と文字はどう関わるのか」「書家と画家の線・点はどう違うのか」等々、展覧会・シンポジウムを通して検証することを目的に2003年から企画開催。「書」と「非書」の際を探る中に新しい芸術誕生のヒントがひそんでいるのではないかと趣旨のもと、日本、中国、アイルランド、英国、フランスと東洋、西洋の視点から作家による検証・ワークショップを実施する事業に対し国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援 11.01.15から01.30にまいづる知恵蔵（舞鶴市）にて開催された展覧会の巡回展
22	国際理解講座「魅惑のフランス」	財団法人京都府国際センター	2011.02.12 ～ 2011.03.05	国際化に関する分野の第一線で活躍している研究者や専門家などを招き、最新の世界情勢や地域の国際化等に関わる問題について分かり易く解説することを目的に実施する講演会に対し、国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援 ①「＜外交と文化＞日本の将来をになうソフトパワー」 (11.02.12) 講師：渡邊啓貴（東京外国語大学大学院教授） ②「フランスにおける日本・京都の魅力」(11.02.19) 講師：ジャン＝マリ・ブイソー（BOUISSOU, Jean-Marie : パリ政治学院国際関係研究センター研究ディレクター） ③「京都の伝統産業はフランスに受け入れられるのか？」 (11.02.26) 講師：村山裕三（同志社大学大学院教授） ④「ミシュランガイドの目指すもの」(11.03.05) 講師：森田哲史（日本ミシュランタイヤ社長室長） ⑤「フランスにおける日本料理の普及」(11.03.05) 講師：高橋拓児（日本料理アカデミー海外事業委員会副委員長）